

Smart-UPS RT 用
拡張バッテリーパック
(型番 : SURT192XLBPJ)
仕様書

シュナイダーエレクトリック株式会社

1. 納入仕様書改版履歴

納入仕様書改版履歴

発行 年月日	改版ページ 変更図番	Ver.	改版理由・改版内容	記印
2004.5.21	新規発行	1	初版発行	HK
2004.12.16	6 ページ 7 ページ 9 ページ 17 ページ 18 ページ	2	URL 変更 安全規格 UL1778 取得 使用済みバッテリー送付先変更 モデルリリースにつき、ランタイム 及びバッテリー容量追加	HK
2009.12.11	20 ページ	3	外形図追加	HS
2011.5.27	20 ページ 21 ページ	4	外形図差し替え	MK
2012.8.1		5	社名変更	MK
2014.10.30	7 ページ	6	交換用バッテリーの数量を追記	MK
2015.10.7	9 ページ	7	使用済みバッテリー送付先追加	KH
2017.4.7	9 ページ	8	使用済みバッテリー送付先変更	KH

2. 安全に関する情報

APC 製品、バッテリーの設置および保守の際に従うべき注意事項が記載されています。APC 製品のセットアップ、設置、再配置、保守を担当されるお客様は本仕様書および製品に同梱されているユーザーズマニュアルを必ずお読みの上、指示に従って下さい。

本仕様書で使用する規約

このセクションでは、本仕様書を通して使用する記号を定義します。必ず全てに目を通して、指示にしたがって下さい。



「危険」記号は、重大な危険を意味します。人体などに危険を伴う可能性のある作業や状態などに注意を喚起します。



「警告」記号は、危険を意味します。製品の全体または一部の破壊につながる作業や状態などに注意を喚起します。



「注意」記号は重要な情報を意味します。注意を払うべき手順、作業や状態などに注意を喚起します。



取扱い時の安全確保のために

- ・製品の質量にご注意下さい。(三人以上で作業を行って下さい。)



- ・10° 以上の傾斜のある場所での移動は避けて下さい。
- ・本装置は誘電物が存在しない、温度調節された室内(正確な周囲温度については「3.仕様」をご覧ください。)でご使用下さい。



電気的な安全確保のために

- ・危険な状態での単独作業は避けて下さい。
- ・導電体を通じて多量のショート電流が流れると、重度の火傷などの原因になる事があります。
- ・配線の工程を必要とする電気機器の設置は、必ず電気工事の有資格者に依頼して下さい。
- ・電源コード、プラグ、コンセントに破損のないことを確認して下さい。
- ・アースが確認できない状態で起こる感電の危険性を軽減するために、設置または他の機器に接続する機器の電源プラグを電源コンセントから必ず抜いて下さい。設置、接続など全ての作業が終了した後で、電源コードをコンセントに差し込みます。
- ・電源を切るまで金属製コネクタに手を触れないで下さい。
- ・信号ケーブルの抜き差しは出来るだけ片手で行い、別々に接続されている部分に同時に接触するために起こる感電を避けるようにして下さい。

- ・ 機器の配線は 2 極 3 線式の交流電源をお使い下さい。この電源はヒューズやブレーカ等の電気遮断装置に配線されている必要があります。遮断装置を介さない電源への接続は感電の原因となる場合があります。
- ・ 電源コード、プラグ、コンセントが良好な状態であることを確認して下さい。



分解、修理、改造をしないで下さい。感電したり、火災を起こす危険があります。

- ・ 密閉した場所で使用したり、カバーをかけたりしないで下さい。異常な発熱や火災を引き起こす事があります。
- ・ UPS の最大入力電流以上の電流容量のある電源コンセントに接続して下さい。電源配線が発熱する事があります。
- ・ 上に物を乗せないで下さい。ケースの歪みや破損により火災を引き起こす事があります。



濡らしたり、水をかけないで下さい。感電したり、火災を引き起こす事があります。



変な音や臭いがした、煙が出た、内部から液体が漏れたなどの時はすぐに UPS のオフボタンを押して停止し、入力プラグを電源コンセントから抜いて下さい。絶対に電源の再投入は行わないで下さい。



電源を切る際の安全確保のために

- ・ 機器にバッテリーなどの内部電源を搭載している場合は、装置が AC 電源に接続されていない場合でも出力側に電力が発生する場合があります
- ・ UPS の電源を切るには、1 秒以上 OFF ボタンを押し、機器の電源を切ります。次いで、AC 電源ケーブルをコンセントから外して、バッテリーを外します。最後に ON ボタンを押して内部コンデンサが放電されていることを確認します。



本機器の故障が生命維持装置の停止を引き起こすと考えられる、またはその安全性と効率に著しい影響を及ぼす可能性がある場合、生命維持装置に本機器を使用しないで下さい。



バッテリーの安全確保のために

バッテリーには寿命があり、バッテリーの寿命を越えた状態で使用された場合、思わぬ障害を発生させる原因となります。予防保全のためにも、バッテリーは必ず定期的に交換して下さい。なお、電池工業会では小形制御弁式(シール)鉛蓄電池の取扱いの指針(電池工業会指針: SBA G0202)に基づき、以下のとおり取替え時期を定義しています。

使用温度条件	取替え時期の目安
5~25℃	2.5年
30℃	1.7年
35℃	1.2年

※ 取替え時期の目安は、保証値ではありません。

※ バッテリー交換 LED 点灯の有無にかかわらず、上記期間を経過した場合は、バッテリーを交換してください。

- ・ バッテリーの使用個数の多い機器や信頼性の要求される重要な使用機器においては、取替え時期を早めて下さい。
- ・ バッテリーの寿命は使用温度条件や負荷容量、放電回数によって大きく変化します。



寿命が尽きたバッテリーはすぐにバッテリーを交換して下さい。使用を続けると発煙や発火、場合によっては火災を引き起こす事があります。



バッテリーは寿命をすぎると、容器の劣化により液漏れすることがあります。漏れ液には希硫酸が含まれているため、発煙、火災の恐れがあります。また皮膚に付着したり目に入った場合、火傷や失明することも考えられます。

- ・ バッテリーを解体しないで下さい。バッテリー交換時のみ手順に従って交換を行って下さい。バッテリー交換以外で、ユーザーが保守・修理できる部分はありません。



バッテリーを火の中に入れてしないで下さい。有毒ガスの発生や爆発、破裂したりする危険性があります。



バッテリーが液漏れを起こした場合は火気を近づけないで下さい。



バッテリーを分解したり、切断しないで下さい。皮膚や目に対して毒性のある電解質を含んでいます。

- ・ 人体への電氣的な被害を防止するために、バッテリーを交換する際は、腕時計および指輪などの金属製アクセサリ等はずして下さい。また、絶縁ハンドルのある工具をご使用下さい。
- ・ バッテリーを交換する際は、弊社指定の交換用バッテリーキットを使用して下さい。



バッテリー配線またはコネクタは絶対に改造しないで下さい。改造は感電や火災を引き起こす可能性があります。



可燃性ガスがある場所でバッテリー交換をしないで下さい。

バッテリーを接続する際、火花が飛び、爆発・火災の原因になる恐れがあります。



バッテリーを金属物でショートさせないで下さい。火傷をしたり、火災を引き起こす事があります。また、使用済みバッテリーでも内部に電気エネルギーが残っています。



バッテリーの保管

バッテリーは保管中も劣化するため、なるべく早く使用して下さい。なお、バッテリーを保管する場合は、定期的に補充電を行って下さい。電池工業会では小形制御弁式(シール)鉛蓄電池の取扱いの指針(電池工業会指針: SBA G0202)に基づき、以下のとおり補充電を必要とする時期を定義しています。

温度	期間
25℃以下	6ヶ月以内
30℃以下	4ヶ月以内
35℃以下	3ヶ月以内
40℃以下	2ヶ月以内

- ・乾燥した温度の低いところに保管して下さい。また、40℃を超えての保管は避けて下さい。使用前には、必ず補充電をして下さい。

バッテリーのリサイクル

交換用バッテリーキットの梱包材を使用して、古いバッテリーをシュナイダーエレクトリックに返却して下さい(詳細については下記のシュナイダーエレクトリックへの連絡方法を参照)。

バッテリーキットの交換については、8ページの「**バッテリーの交換**」を参照して下さい。

なお、バッテリーに関する情報は下記 URL にて公開しています。

インターネット: <http://www.apc.com/jp/>

シュナイダーエレクトリックへの連絡方法

インターネット: <http://www.apc.com/jp/>

3. 仕様

バッテリー仕様

項目	仕様・機能	規格・備考
バッテリー形式	小形シール鉛蓄電池	
バッテリートレイ仕様	96VDC/5Ah×2 個	2 個直列(192VDC)で使用
バッテリートレイ	4 個	12VDC/5Ah バッテリー×32 個
バッテリー通常寿命 (交換目安は、保証値ではありません)	使用温度	交換目安
	5~25℃	2.5 年
	30℃	1.7 年
	35℃	1.2 年
	放電回数と周囲温度によって変化する。 ※交換目安は、保証値ではありません。	
	バッテリー交換 LED 点灯の有無にかかわらず、左記期間を経過した場合は、バッテリーを交換してください。	
交換用バッテリーキット型番	RBC44J×2	交換には RBC44J が 2 式必要
安全規格	UL1778	

外形寸法

項目	仕様・機能	規格・備考
H×W×D [mm]	130×432×695	

質量

項目	仕様・機能	規格・備考
正味質量	約 91kg	
梱包質量	約 106kg	

使用環境

項目	仕様・機能	規格・備考
使用周囲条件	0~40℃	周囲温度
	0~95%(結露なきこと)	相対湿度
	3,000 メートル以下 (10,000 フィート以下)	最大高度
保存周囲条件	-15~45℃	周囲温度
	0~95%(結露なきこと)	相対湿度
	15,000 メートル以下 (50,000 フィート以下)	最大高度

4. バッテリ交換

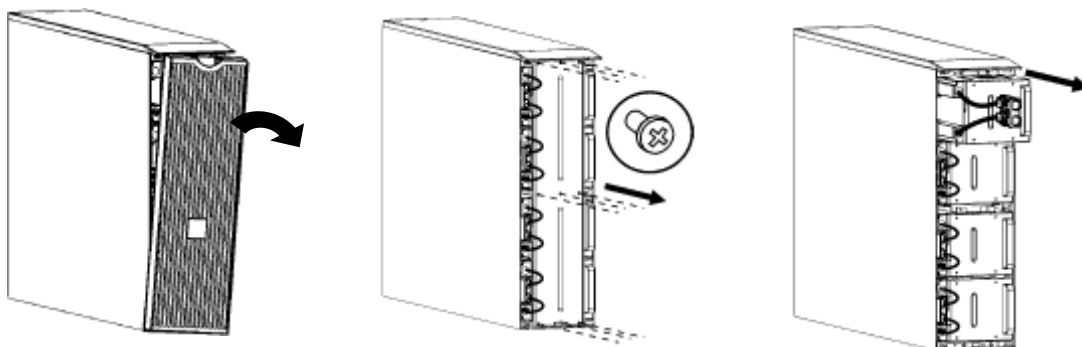
本装置には簡単に取り換えができるバッテリートレイが実装されています。バッテリーは危険な高電圧から絶縁されているため、バッテリーの交換は安全です。UPS と負荷装置を ON のままバッテリー交換可能です (ホットスワップ可能)。専用の交換用バッテリーキットを使用して交換してください。



UPS 内部のバッテリー接続を外すと、負荷は停電から保護されなくなります。

・バッテリー交換の手順

1. フロントベゼルを外します。
2. バッテリーカバーのネジを外します。
3. バッテリーカバーを開けます。
4. バッテリーコネクタを2箇所外します。
5. バッテリートレイのハンドルをしっかりと持って、バッテリートレイをゆっくりと拡張バッテリーパック内部から半分ほど引き出します。次いで、バッテリートレイ底面をしっかりと持って、拡張バッテリー内部からバッテリートレイを取り出します。バッテリートレイは4つあります。



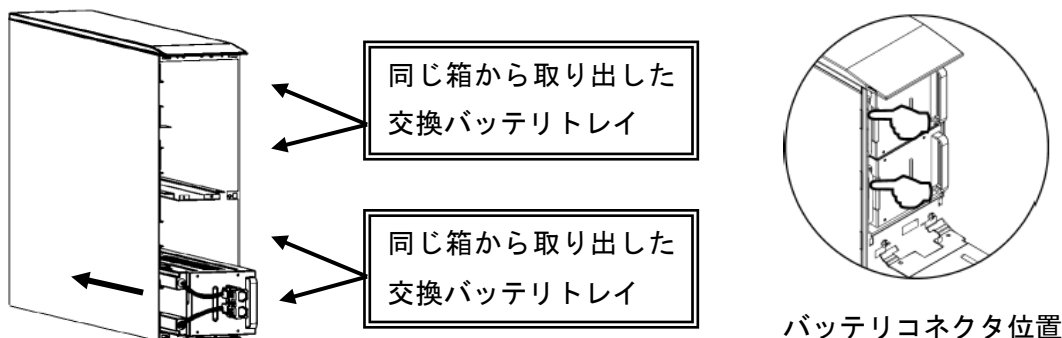
1本のバッテリートレイは約 18kg です。2人以上で作業を行ってください。

6. 交換用バッテリートレイを内部の取り付け溝に沿って、静かにスライドさせ挿入します。バッテリートレイは4つあります。交換用バッテリーキットは2個のバッテリートレイが梱包されています。同じ箱から取り出したバッテリートレイはとなり同士に挿入される必要があります。



同じ箱から取り出したバッテリートレイをとなり同士 (下図) に挿入しない場合、バッテリーの寿命が通常よりも短くなる場合があります。

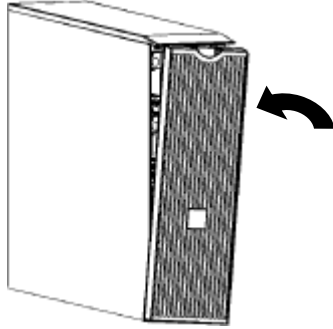
7. 交換したバッテリートレイのバッテリーコネクタ4箇所を本体のコネクタと接続します。接続した後にコネクタが、しっかりと挿入されていることを確認してください。





通常、接続時にバッテリーコネクタから多少の火花が散りますが、問題ありません。

8. バッテリーカバーを閉じ、手順 2 で取り外したネジを使用して、バッテリーカバーをネジで止めます。
9. フロントベゼルをゆっくりと取り付けます。



10. 交換用バッテリーキットの梱包材を使用し、古いバッテリーを APC に返却してください。
11. バッテリーは必ずリサイクルしてください。古いバッテリーは適切なリサイクル施設まで届けるか、交換用バッテリーキットの梱包材に包んで宅急便送付状に“RBC 交換済み廃棄バッテリー在中”と記述し、廃棄バッテリーであることをご記入ください。弊社指定の住所までご郵送ください。詳しくは以下の Web サイトをご参照ください。

バッテリーに関する各種情報 <http://www.apc.com/jp/>

・使用済みバッテリー送付先(弊社指定交換用バッテリーご購入時)

〒321-0905 栃木県宇都宮市平出工業団地 38-25

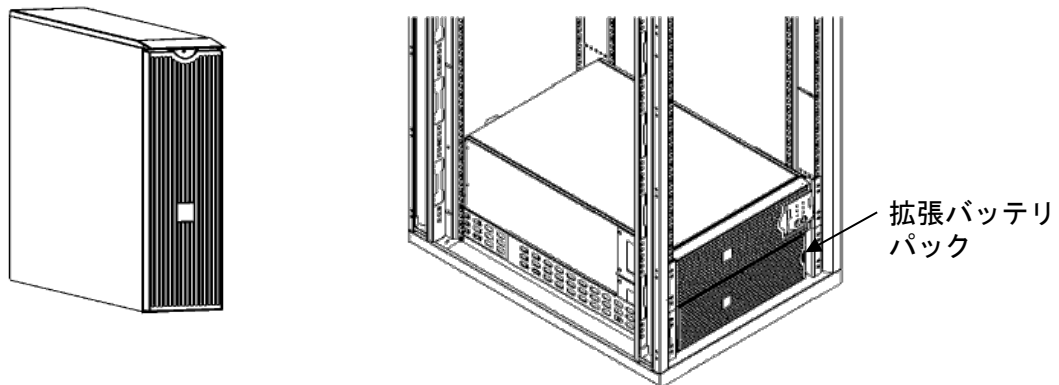
(株)ダイセキ MCR 内 シュナイダーエレクトリック株式会社 サービスセンター

使用済みバッテリー受付係 TEL:028-664-2228

s-info@daiseki-mcr.com

5. 設置

本装置は、下図で指定した設置方向以外では使用しないでください。

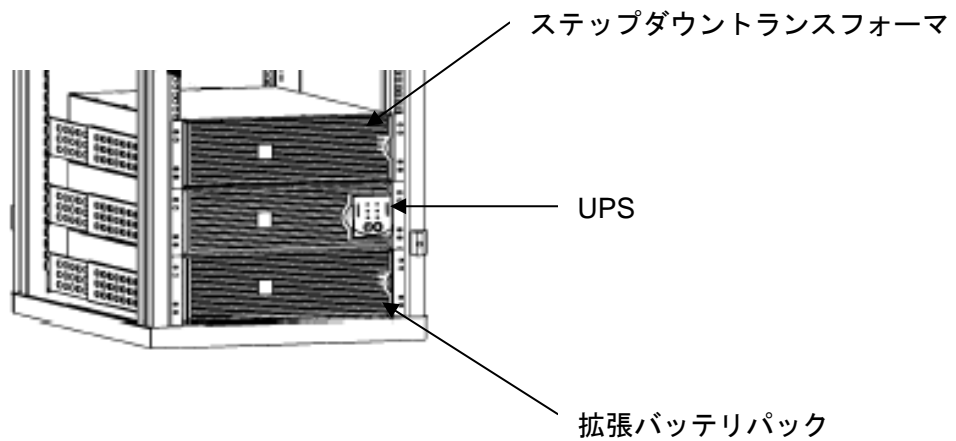


本製品をラックに搭載する場合は、レールキット(型番: SURTRK2)を別途購入する必要があります。

また、ラックにUPS、ステップダウントランスフォーマ、拡張バッテリーパックを設置する際は、下記の順番で重量物を下段に設置してください。

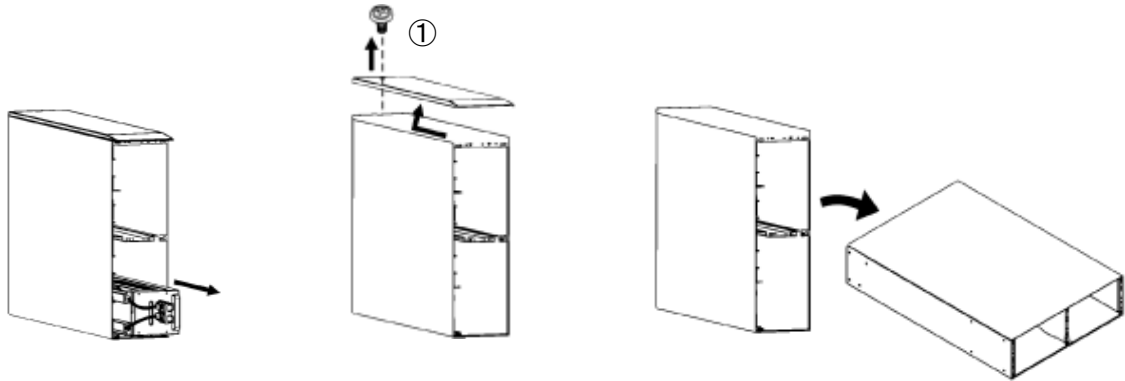
- 上段: ステップダウントランスフォーマ
- 中段: UPS 本体
- 下段: 拡張バッテリーパック

の順に設置してください。

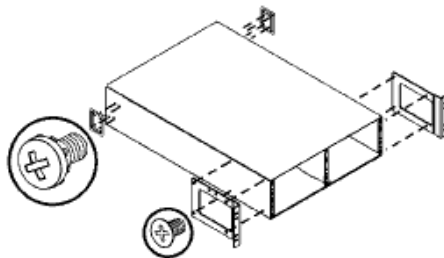


・ステップダウントランスフォーマの横置き設置

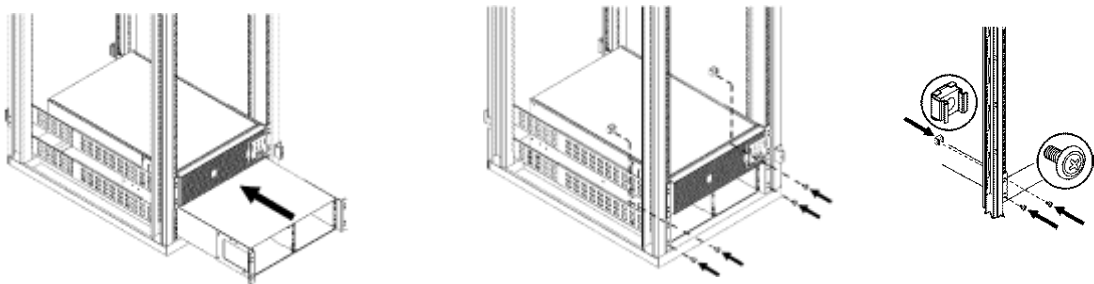
1. 横置きで設置する場合、内部のバッテリーを取り外してから作業を実施してください。バッテリーの取り外し方法は、8 ページ「バッテリー交換」を参照してください。
2. ①部分のねじを外して、トップカバーを外します。
3. ラックに設置した際に前面パネルが正面になるように、前面パネルを横向きに回転します。



4. 別途購入したレールキット(SURTRK2)を使用して、クリートおよびブラケットを取り付けます。詳細はレールキットに添付されている図面をご確認ください。



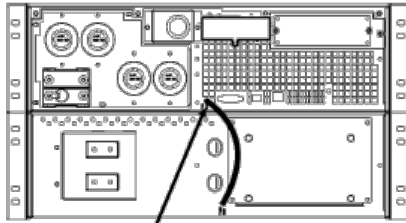
5. 拡張バッテリーパックをレールに設置します。拡張バッテリーパックの両側を支え、装置を慎重にレールに合わせます。装置の各側面にはクリートがあり、それをレールの溝にスライドさせます。各クリートを溝に合わせ、装置をスライドしてはめ込みます。レールキットに添付されているネジを使用してラックに取り付けます。



6. UPS 本体の TVSS ネジを外し、そのネジが取り付けであった個所に拡張バッテリーパックのアース線を TVSS ネジで接続します。拡張バッテリーパックを 2 台以上接続する際には、拡張バッテリーパックの TVSS ネジを外し、もう一方の拡張バッテリーパックのアース線をその個所に接続します。緑/黄色のアース線を接続することで、拡張バッテリーパックの GND(グラウンド)が UPS 本体の GND に接続されます。(拡張バッテリーパックは最大 10 台まで増設可能です。)

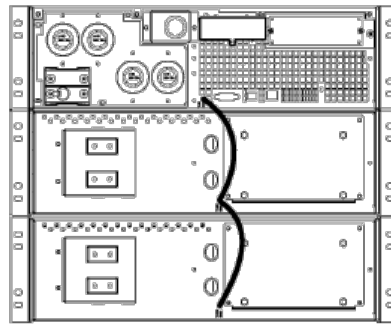


必ず UPS 本体と拡張バッテリーパックのアース線を TVSS ネジで接続してから、拡張バッテリーパックのバッテリーコネクタを UPS のバッテリーコネクタに接続してください。緑/黄色のアース線を接続しない場合、感電する恐れがあります。



TVSS
GND

1 台目の接続図

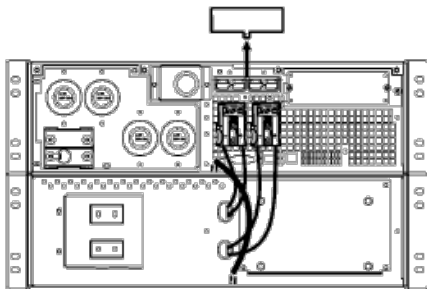


2 台目以降の接続図

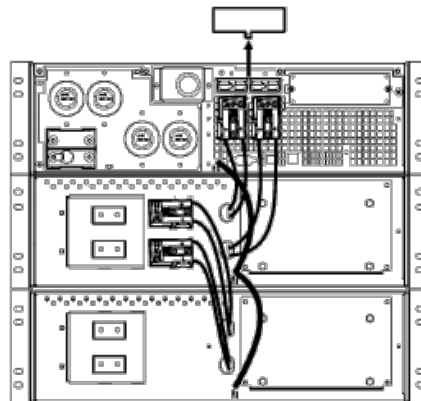
7. UPS 本体のバッテリーコネクタカバーを取り外し、下記のように拡張バッテリーパックのコネクタを UPS のバッテリーコネクタに接続します。2 台目からは、拡張バッテリーパックのバッテリーコネクタに接続します。



バッテリーコネクタ部分は、直流電圧が印加されていますので、絶対に手で触れないでください。感電する恐れがあります。



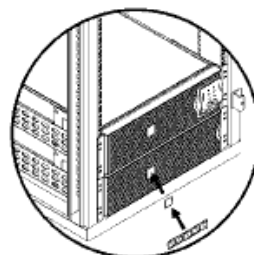
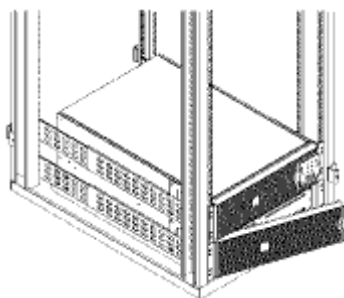
1 台目の接続図



2 台目以降の接続図

8. バッテリーを取り付けてください。バッテリーの取り付け方法は、8 ページ 「バッテリー交換」を参照してください。

9. フロントベゼルを静かに取り付けます。レールキットに添付のラックマウント用シールを本体に貼ってください。

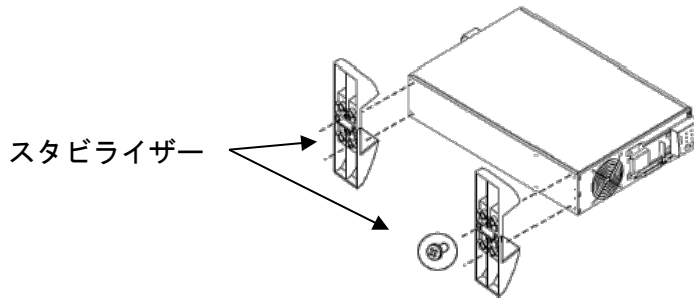


・ 拡張バッテリーパックの縦置き設置

1. 縦置きで設置する場合は、UPS 本体のスタビライザーを取り外します。スタビライザーを取り外す場合は、UPS 内部のバッテリーを取り外してから作業を実施してください。バッテリーの取り外し方法は、8 ページ「バッテリー交換」を参照してください。



拡張バッテリーパックを縦置きに設置する場合は、UPS 本体の内部バッテリートレイを取り外し、UPS 本体底面に取り付けられているスタビライザーを取り外してください。作業をする際には 3 人以上で行ってください。

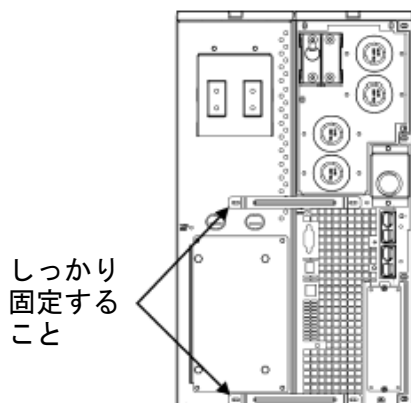


2. UPS 本体からスタビライザーを外した状態で縦置きした後、UPS 本体にバッテリーを実装してください。バッテリーの実装方法については、8 ページの「バッテリー交換」を参照してください。また、拡張バッテリーパックの設置についても、内部バッテリーを取り外してから縦置きに設置してください。なお、設置方法は拡張バッテリーパックのユーザーズマニュアルを参照してください。（拡張バッテリーパックは最大 10 台まで増設可能です。）

縦置きに拡張バッテリーパックを接続する時には、拡張バッテリーパックに添付の固定ブラケットとネジを使用して、下記のようにしっかりと固定してください。UPS 本体および拡張バッテリーパックのリアパネルには取り付け部分があります。

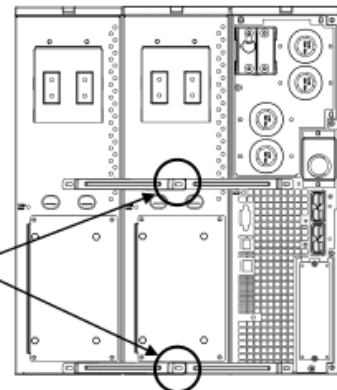


固定ブラケットは、装置が転倒しないようにしっかりとネジ止めしてください。



1 台目の接続図

注意：固定ブラケットが重なる部分は同じスクリューを使用すること

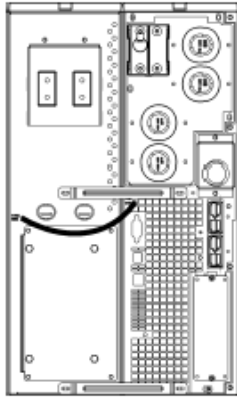


2 台目以降の接続図

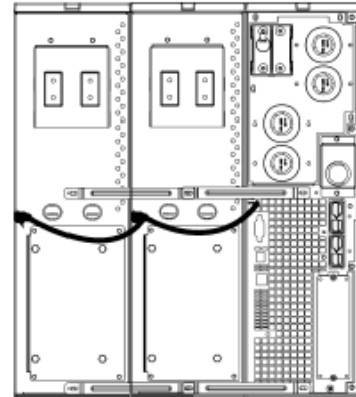
3. UPS 本体の TVSS ネジを外し、そのネジが取り付けであった個所に拡張バッテリーパックのアース線を TVSS ネジで接続します。拡張バッテリーパックを 2 台以上接続する際には、拡張バッテリーパックの TVSS ネジを外し、もう一方の拡張バッテリーパックのアース線をその個所に接続します。緑/黄色のアース線を接続することで、拡張バッテリーパックの GND(グラウンド)が UPS 本体の GND に接続されます。



必ず UPS 本体と拡張バッテリーパックのアース線を TVSS ネジで接続してから、拡張バッテリーパックのバッテリーコネクタを UPS のバッテリーコネクタに接続してください。緑/黄色のアース線を接続しない場合、感電する恐れがあります。



1 台目の接続図

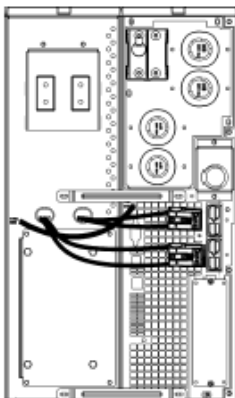


2 台目以降の接続図

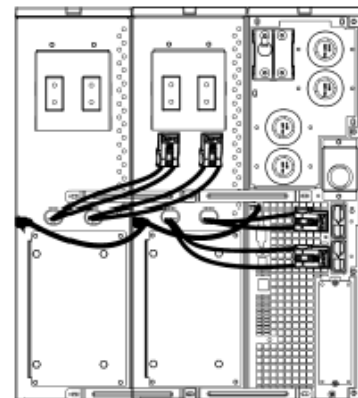
4. UPS 本体のバッテリーコネクタカバーを取り外し、下記のように拡張バッテリーパックのコネクタを UPS のバッテリーコネクタに接続します。2 台目からは、拡張バッテリーパックのバッテリーコネクタに接続します。



バッテリーコネクタ部分は、直流電圧が印加されていますので、絶対に手で触れないでください。感電する恐れがあります。



1 台目の接続図



2 台目以降の接続図

6. 拡張バッテリーパックの設定方法

ターミナルモードを使用して拡張バッテリーパック数を設定する必要があります。

ターミナルモードとは、UPS の詳細設定が可能なメニュー駆動型インターフェイスです。

UPS に添付するシリアルケーブル (940-1524C) を UPS の背面にあるシリアルポートに接続し、下記の手順で拡張バッテリーパック数を正しく設定してください。

(拡張バッテリーパックは最大10台まで増設可能です。)

1. ターミナルプログラムを開きます。

例: ハイパーターミナル

- ・デスクトップから、[スタート] => [プログラム] => [アクセサリ] => [通信] => [ハイパーターミナル] を選択します。

2. [ハイパーターミナル] アイコンをダブルクリックします。

- ・画面の指示に従って名前とアイコンを選択します。「モデムをインストールする必要があります。」という旨のメッセージが表示された場合は無視します。 [OK] をクリックします。
- ・ご使用の UPS に接続されている **COM** ポートを選択します。ポートの設定は以下の通りです。

ビット秒 - **2400**

データビット - **8**

パリティ -**なし**

ストップビット - **1**

フロー制御 -**なし**

- ・Enter キーを押します。

3. 拡張バッテリーパック数の設定例 (SURT192XLBPJ):

- ・新規のターミナルウィンドウが開いたら、以下の手順に従ってバッテリーパックの数を入力します。

Enter キーを押してターミナルモードにします。ユーザー名: のプロンプトが表示されるまで、Enterキーを複数回押します。画面の指示に従います。タイプ入力はゆっくり行い、画面に入力文字が表示されるのを待ってから次の文字を入力します。

Network Management Card MXのデフォルト設定の変更:

- ・ユーザー名: apc
- ・パスワード: apc
- ・1 とEnterキーを押し、 [Device Manager] を選択します。
- ・対応する番号を入力してモデルを選択し、ENTER キーを押します。
- ・1 とEnterキーを押し、 [Smart UPS RT 5000 XL] を選択します。
- ・3 とEnterキーを押し、 [Configuration] を選択します。

- ・ 1 とEnterキーを押し、 [Battery] を選択します。
- ・ 2 とEnterキーを押し、 [External Batteries] に進みます。
- ・ 拡張バッテリーパックの数（1パックあたりのバッテリートレイ数は 4 個）をタイプ入力し、Enter キーを押します。（パックの数: 1=内蔵バッテリー、 2 = 1×SURT192XLBPJ、 3 = 2×SURT192XLBPJ、 など）
- ・ 3 とEnterキーを押し、変更を受け入れます。
- ・ ESC キーを複数回押して (5 回) メインメニューに戻ります。
- ・ 4 とEnterキーを押し、ログアウトします。

これで、設定完了です。

7. ランタイム

SURT5000XLJ、SURT7500XLJ、SURT10000XLJおよび拡張バッテリーパック（バッテリーパック SURT192XLBPJ）を接続した際のランタイム（バックアップ時間）表です。



必ず UPS 本体と拡張バッテリーパックのアース線を TVSS ネジで接続してから、拡張バッテリーパックのバッテリーコネクタを UPS のバッテリーコネクタに接続してください。緑/黄色のアース線を接続しない場合、感電する恐れがあります。

SURT5000XLJ

拡張バッテリーパックパ ック数		0 (UPS本体のみ)	1	2	5	10
VA	W	バックアップ時間標準（分）				
1000	700	47	164	290	693	1407
2000	1400	21	78	140	338	689
2570	1800	15	59	106	258	527
3570	2500	9	41	74	181	371
4280	3000	8	33	60	148	304
5000	3500	5	27	50	125	257

SURT7500XLJ

増設バッテリーパック数		0 (UPS本体のみ)	1	2	5	10
VA	W	バックアップ時間標準（分）				
875	700	94	174	274	590	1149
1250	1000	66	125	197	424	826
2500	2000	32	61	97	213	417
3125	2500	24	48	77	169	331
3750	3000	19	39	63	139	274
5000	4000	13	28	46	102	201
6250	5000	10	21	35	79	158
7500	6000	7	16	28	65	130

SURT10000XLJ

増設バッテリーパック数		0 (UPS本体のみ)	1	2	5	10
VA	W	バックアップ時間標準（分）				
1250	1000	66	125	197	424	826
2500	2000	32	61	97	213	417
3750	3000	19	39	63	139	274
5000	4000	13	28	46	102	201
6250	5000	10	21	35	79	158
7500	6000	7	16	28	65	130
8750	7000	5	13	23	55	109
10000	8000	4	11	20	47	94

上記ランタイムは力率=0.7(SURT5000XLJ)、力率=0.8(SURT7500XLJ、SURT10000XLJ)の負荷を想定した値となります。

また、数値に関してはあくまでも参考値であり、実際のバックアップ時間は充電状態、周囲温度、使用年数等により異なります。

8. 火災予防条例について

無停電電源装置を設置すること等により、バッテリー容量(Ah・セル)の合計が 4800Ah・セル以上となるときは、専用不燃区画に設置する必要があります(火災予防条例準則第 11 条、13 条)。詳しい内容を所轄消防署にお問い合わせの上、「設置届書」をご提出ください。

装置のバッテリー容量

バッテリー容量の計算式は以下のようになります。

- ・ 容量(Ah・セル)=単電池(セル)あたりの定格容量(Ah：鉛蓄電池では 20 時間率を基準)×単電池数(セル)

計算方法

拡張バッテリーパック(拡張バッテリーパックSURR192XLBP) は、96V/5Ahのバッテリートレイを4個使用しています。また、使用されている小形鉛蓄電池は1セル当たり電圧が2Vのため、1台のバッテリートレイのセル数は、 $96V \div 2V = 48$ (セル) となります。

セルの定格容量は5Ah (20時間率) であるので、拡張バッテリーパック1台当たりのバッテリー容量は、

48 (セル) \times 5 (Ah) \times 4 (個) = 960 (Ah・セル) /1台となります。

UPS本体では、モデルにより96V/5Ahのバッテリートレイを2個または4個使用しています。

同様にUPS本体のバッテリー容量は、

SURT5000XLJの場合、 48 (セル) \times 5 (Ah) \times 2 (個) = 480 (Ah・セル) /1台となります。

SURT7500XLJ、SURT10000XLJの場合、 48 (セル) \times 5 (Ah) \times 4 (個) = 960 (Ah・セル) /1台となります。

したがって、火災予防条例の規制対象は、

SURT5000XLJの場合、UPS本体 480 (Ah・セル) +SURR192XLBP 960 (Ah・セル) \times 4 台 = 4320 (Ah・セル) となり、拡張バッテリーパック5台目から、 4800 (Ah・セル) を超えるため規制対象となります。

SURT7500XLJ、SURT10000XLJの場合、UPS本体 960 (Ah・セル) +SURR192XLBP 960 (Ah・セル) \times 3 台 = 3840 (Ah・セル) となり、拡張バッテリーパック4台目から、 4800 (Ah・セル) を超えるため規制対象となります。

計算結果

- ・ SURT5000XLJ の場合、拡張バッテリーパック(拡張バッテリーパック SURT192XLBPJ)5 台目から、また SURT7500XLJ、SURT10000XLJ の場合、拡張バッテリーパック 4 台目から、火災予防条例の規制対象となります。
- ・ UPS本体の容量：**480 (Ah・セル)** 「SURT5000XLJの場合」
- ・ UPS本体の容量：**960 (Ah・セル)** 「SURT7500XLJ、SURT10000XLJの場合」

・ 拡張バッテリーパック(拡張バッテリーパックSURT192XLBPJ)1台あたりの容量 : **960(Ah・セル)**

9. 製品保証

保証範囲

シュナイダーエレクトリック株式会社は、商品に対して下記で示した期間の無償保証を行います。但し、日本バージョンの日本国内で使われている拡張バッテリーパックに限ります。

この保証は天災や事故によるダメージ、お客様の過失、間違った使用や改造した拡張バッテリーパックには適用されません。

保証期間及び各保証範囲

1 無償保証

- ・ 購入日より起算して2年間。
- ・ 無償保証期間内でも次の場合は有償扱いになります。
 1. お客様による輸送・移動時の落下、衝撃等、お客様のお取扱いが適切ではないために生じた故障・損傷の場合
 2. 火災・地震・風水害・落雷等の天災地変、テロ、暴動、公害、煙害、ガス害(硫化ガス等)、異常電圧や指定外の電源使用等による故障・損傷の場合
 3. ご使用上での誤り、あるいは不当な修理・調整・改造を行ったことによる故障・損傷の場合
 4. 海外で使用された場合

2 有償保証

- ・ 無償保証期間2年経過後の商品

3 供給及び修理の継続

- ・ 購入日より起算して5年間の保証とします。

生命維持に関する方針

1 一般的な方針

シュナイダーエレクトリックは、一般的な方針として生命維持装置に当社のいかなる製品もご使用いただくことをお勧めしません。生命維持装置では、APC 製品の障害や誤動作によって生命維持装置に障害が発生したり、それらの装置の安全性や有効性が著しく損なわれることが当然予想されます。シュナイダーエレクトリックは(a)ケガや損傷の危険性が最小となっており、(b)お客様がそのようなすべての危険性を承知し、(c)その状況のもとでシュナイダーエレクトリックの責任が十分保護されることが書面で十分保証されるまでは、生命維持装置の領域で使用することを承知しながら当社の製品を販売することはいたしません。

2 生命維持装置の例

生命維持装置とみなされる装置の例としては、新生児酸素分析装置、神経刺激器（麻酔、鎮痛等に使用）、自動輸血装置、血液ポンプ、細動除去器、不整脈検出器および警告器、ペースメーカー、血液透析システム、腹膜透析システム、新生児人工呼吸保育器、大人/子供兼用人工呼吸器、麻酔人工呼吸器、点滴ポンプ、および合衆国食物医薬品局が「生死に関わる」と指定したその他すべての装置があげられます。

多くの APC UPS システムに対し、オプションとして APC 製品以外の「病院等級/医療機器等級」の配線装置と漏れ電流装置を注文ができるものがありますが、シュナイダーエレクトリックではこのような修正が施された装置が、弊社または他の組織によって「病院等級/医療機器等級」として認定あるいは分類されていると提言するものではありません。